

【短報】五島列島福江島でキヒゲアリヅカムシ（ハネカクシ科アリヅカムシ亜科）を採集

野村（2019）は、これまで未記載種 *Atenisodus* sp. として日本各地から記録してきた種の標本を精査し、台湾から知られる、キヒゲアリヅカムシ *Atenisodus gracilicornis* Raffray, 1912 であるとして、本州、九州、南西諸島（トカラ中之島、沖縄島）から記録した。九州の離島では、長崎県平戸島、鹿児島県下甕島からの記録がある。

このたび筆者は、長崎県五島列島福江島各地でアリヅカムシの採集を行い、島の南西端に位置する五

島市玉之浦町大瀬崎から本種の多数個体を採集したので、以下に報告する。福江島および五島列島からは初めての記録となる。採集者はすべて筆者である。＜採集データ＞4♂6♀、大瀬崎、22. v. 2019; 6♂4♀、同所、23. v. 2019。



図1. 五島列島における福江島の位置と、採集地大瀬崎の位置。

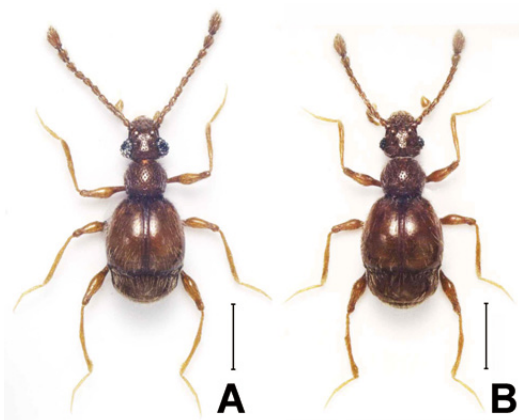


図3. 福江島で採集されたキヒゲアリヅカムシ (A: ♂; B: ♀) (スケール: 0.5 mm)。

引用文献

野村周平, 2019. 日本にキヒゲアリヅカムシ（ハネカクシ科、アリヅカムシ亜科）産す. さやばねニューシリーズ, (34): 44-47.

（野村周平 国立科学博物館動物研究部

(nomura@kahaku.go.jp)）



図2. キヒゲアリヅカムシの採集地点（玉之浦町大瀬崎）。A: 周囲の環境（歩道側の景観）；B: 採集場所（歩道と反対側）。

【短報】日本から記録された *Enochrus affinis* への和名の提唱（鞘翅目・ガムシ科・ヒラタガムシ亜科）

Enochrus affinis (Thunberg, 1794) は旧北区に分布する小型のヒラタガムシで、Jia & Wang (2010) がコヒラタガムシ *E. (Methyrus) vilis* (Sharp, 1884) を本種の新参シノニムとしたことで日本のファウナに加わった。筆者は Minoshima (2019) でコヒラタガムシとウスグロヒラタガムシ *E. (M.) uniformis* (Sharp, 1884) の検討を行った結果、上記2種は別種であり、日本にはコヒラタガムシと *E. affinis* の両方が生息していることが分かった。Minoshima (2019) では *E. affinis* に対して和名の提唱を行っていないため、ここで *E. affinis* に対してクロヒゲヒラタガムシ（和名新称）を提唱したい。本種は和名の通り、小顎髭の先端節と第2節の基部半分が黒色～暗色を示すことが特徴である。本研究は JSPS 科研